

江戸川区立清新第二中学校

令和8年度学校要覧



教育目標

- (1) 豊かな心で、互いに敬愛できる人 (敬愛)
- (2) 進んで学び、深く考える人 (知性)
- (3) 健康で明るく、自らを鍛える人 (健康)
- (4) 責任を重んじ、勤労を尊ぶ人 (責任)
- (5) 礼儀を重んじ、他とよい関係を築く人 (礼節)

校章の由来

開校当時、正門に檜の大樹があり、本校のシンボリックな存在であった。この檜の三葉をデザイン化したもの。三葉は自然を愛するとともに、人格の完成を目指し、真・善・美の調和のとれた豊かな人間性を表している。



生徒こころ得 — あ・じ・み・せ —



- (1) 挨拶をする
- (2) 時間を守る
- (3) 身だしなみを整える
- (4) 整理整頓する

校歌

<p>三 かもめ鳴く 葛西の海よ 虹もたつ はるかな空に 歌おう 友よ 愛を 希望を かがやく瞳 世界にむけて ああ 清新 清くあたらし 誇りあれ 二中</p>	<p>二 風そよぐ みどりの町に 芽生えいく 若いころよ 走ろう 友よ 土を 大地を きらめく汗に 力あふれて ああ 清新 清くあたらし 誇りあれ 二中</p>	<p>一 波ひかる荒川ぎしよ 天をめぐし けやきは高く 学ぼう 友よ 知恵を 真理を 語らう窓へ 夢もうまれて ああ 清新 清くあたらし 誇りあれ 二中</p>	<p>作詞 田島 伸夫 作曲 千本 威信</p>
--	--	--	------------------------------

— 生徒一人ひとりの夢を支援する — 個に応じた進路指導



卒業後の進路を視野に、きめ細やかな進路指導を行っています。1年生は職業人の講演会、2年生は40を越える地元事業所のお力添えをいただいて3日間の職場体験（「チャレンジ・ザ・ドリーム」）を実施しています。働くことの喜びや苦勞を体験し、進路選択での基盤を培います。

また3年生は、高校の先生を招いての出前体験授業会、面接指導などを行い、生徒の進路実現を支援しています。

【令和7年度卒業生 主な進路先】

都立高校 (他県公立含む)	私立高校
<p><普通科> 上野、江戸川、葛西南、小松川、駒場、城東、墨田川、千歳丘、戸山、日比谷、深川、本所、紅葉川</p> <p><専門学科> 晴海総合(総合学科) 第三商業(ビジネス科) 鹿児島県立南大隅高等学校(商業科)</p> <p><定時制> 六本木</p>	<p><全日制> 郁文館グローバル、江戸川女子、関東第一、京華、駒場学園、実践学園、品川エトワール女子、昭和第一、正則、正則学園、東海大学付属浦安、二松学舎大学附属、日本大学習志野、朋優学院</p> <p><通信制> N高等学校、青森山田</p> <p><専修・専門> 東京コミュニケーションアート専門学校</p>

自主・自律を促す清新二中の教育

1

様々な学習形態で基礎・基本を定着させ、課題解決力を育む

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 218 江戸川区立清新第二中学校

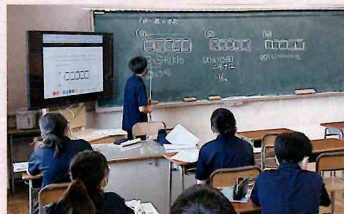
[全国学力・学習状況調査] 平均正答率東京都との差			
学 年 年 度	第3学年		
	国語	数学	合計
令和8年度の目標	+1.0	+3.0	+4.0
令和7年度の目標	+0.1	-0.1	0
令和6年度の目標	-1.4	-1.5	-2.9
令和5年度の目標	-0.4	-0.4	-0.8

[江戸川区学力調査] 平均正答率全国との差						
学 年 年 度	第1学年			第2学年		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和8年度の目標	0	+2.0	+2.0	0	+3.0	+3.4
令和7年度の目標	-0.8	+2.0	+2.4	-1.3	+2.8	+2.8
令和6年度の目標	-1.4	+1.1	+1.1	-1.0	+2.1	+2.2
令和5年度の目標						

年 度 内 容	令和7年度		令和8年度	
	成果と課題	目 標	目標達成に向けた取組	
学校全体	<p>【成果】 江戸川区学力調査では、2学年とも全教科全国平均を超えていた。特に数・英は5%以上の差があったので、学力は安定していると考え、また3年生の「全国学力・学習状況調査」では国語の平均回答数は都を超えていて、数学はこえていなかった。どちらも偏差のレベルのものなので、学力の定着はなされていると判断できる。</p> <p>【課題】 学力層でいう「D層」や全国学調での正解数1~4/5問の生徒が学年の20%を占めている。学力を底上げしていくことが1つの課題であると考え。</p>	<ol style="list-style-type: none"> カリキュラム・マネジメントの推進→学ぶ楽しさの実感 教科横断的な学習の充実/PDCAサイクルによる授業改善/地域連携教育の推進 学びのユニバーサルデザインを基盤とした、教員の授業力の向上 対話的な学習活動→コミュニケーション能力の育成 読書を基盤とした探究活動の推進→基礎学力と探究力の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 学力調査等データの分析を行い、重点指導項目の明確化や授業改善を推進する。また個別最適学習として「家庭学習プロジェクト (KGP)」の実施や電子ドリル等の活用。 授業のUD化、ICT活用、研究授業の実施。さらには対話的 (話し合い) を取り入れた授業構築と改善 週末テスト、補充教室、長期休業中の取り組み等により基礎学力の定着を図る。 図書室の蔵書管理システムを活用し、読書活動と探究的学習を連動させる。 	
第1学年	<p>【成果】 平均解答率の全国との差は3教科ともプラスであった。(国語+2.3・数学+6.4・英語+7.9) 特に応用では数・英が差を+10であった。継続的に学びで更なる向上を期待したい。</p> <p>【課題】 学力層での教科間の開きがあることが課題であった。国語のA・B層は56%であった。これに対し、数学は62%・英語は64%である。国語の領域別平均正答率をみると、「知識・技能」の観点で全国平均を下回っている。言葉や言語文化に関する領域を苦手とする生徒が多いので、口語文法や読書学習に向けた取り組みを工夫して行っていくことが重要であると考え、また日々の学校生活でのコミュニケーション活動でも、この領域は養われるので、対話的な授業や総合的な学習の時間や特別活動・道徳などにおいても、表現力の向上を目指した活動を意欲的に取り入れていくことも必要であると考え、継続的な指導を見守っていききたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に学ぶ楽しさを実感させる。 生徒たちの実態の把握を丁寧に行い、改善策を見出す。 常に指導方法について検討するスタンスで教育活動を実践する (授業改善への意欲) 江戸川区学力調査における目標数値をこえること。 	<ul style="list-style-type: none"> 年4回の定期考査・年2回の校内学習アンケート・江戸川区学力調査を踏まえた集計データにもとづく授業改善の実施。(考査問題も観点別・領域別に即した設問にして、常に平均正答率を出して、生徒の実態を把握し、それに合わせた授業改善を繰り返していく。) データからの生徒たちの苦手としていることの分析をして生徒の実態を把握していく。 	
第2学年	<p>【成果】 平均解答率の全国との差は3教科ともプラスであった。(国語+2.3・数学+6.4・英語+7.9) 特に応用では数・英が差を+10であった。継続的に学びで更なる向上を期待したい。</p> <p>【課題】 学力層での教科間の開きがあることが課題であった。国語のA・B層は56%であった。これに対し、数学は62%・英語は64%である。領域別平均正答率をみると、「知識・技能」の観点で全国平均を下回っている。言葉や言語文化に関する領域を苦手とする生徒が多いので、口語文法や読書学習に向けた取り組みを工夫して行っていくことが重要であると考え、また日々の学校生活でのコミュニケーション活動でも、この領域は養われるので、対話的な授業や総合的な学習の時間や特別活動・道徳などにおいても、表現力の向上を目指した活動を意欲的に取り入れていくことも必要であると考え、継続的な指導を見守っていききたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習・指導計画の明確化 常に指導方法について検討するスタンスで教育活動を実践する (授業改善への意欲) 前年度の国語の江戸川区学力調査の課題を踏まえた生徒たちの実態把握と指導方法の工夫 生徒たちが読書科等で身につけたことを活用していきけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 年4回の定期考査・年2回の校内学習アンケート・江戸川区学力調査を踏まえた集計データにもとづく授業改善の実施 (考査問題も観点別・領域別に即した設問にして、常に平均正答率を出して、生徒の実態を把握し、それに合わせた授業改善を繰り返していく。) 言葉や言語文化に関する領域を苦手とする生徒が多いので、口語文法や読書学習に向けた取り組みを工夫して行っていくこと。また日々の学校生活でのコミュニケーション活動で、この領域を養うための、対話的な授業を多く取り入れる。さらに総合的な学習の時間や特別活動・道徳などにおいても、表現力の向上を目指した活動を意欲的に取り入れていく。 	
第3学年	<p>【成果】 上記の「学校全体」では都との比較で記載したが、2教科とも平均解答率は50%をこえていたので、学力は平均的に身につけていると考え、全国との比較では、国語が+3.3%・数学が+4.7%であった。</p> <p>【課題】 無解答率をみると、国語は最後の2つの設問の割合が高かった。時間内に最後までたどり着けなかった生徒がいたように感じる。速断するや時間配分などに関して、身をもって体得する訓練を繰り返し行っていくことが課題の一つにあげられる。また数学では、記述式解答を求められた設問の割合が高かった。(5問中4問が30%以上では無解答率が46%の問題もあった。) さらに、数量・図形・関数・データ活用4領域に分けた場合は、図形の正答率が50%を割っていた。よって図形の証明問題を課題とする生徒が多いということが分析できた。事柄を文章等で表現する訓練を多く取り組んでいくことが重要であると考え、実際に「数学が苦手」と答える生徒は多く、さらに理由を尋ねると「図形の証明」を難解であると感じているようである。少数の形態や「教えあい」などの対話的な授業を多く取り入れて苦手克服に向けた取り組みを継続的にしている。苦手意識をもったまま本校を卒業し、上級学校へ進学していくことは避けたいという思いがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習・指導計画の明確化 常に指導方法について検討するスタンスで教育活動を実践する (授業改善への意欲) 全国学力・学習調査での無解答率の平均を一桁にしていく。(R7年度 国語6%・数学11%) 生徒たちが読書科等で身につけたことを様々な場面で応用していきけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 年4回の定期考査・年2回の校内学習アンケート・江戸川区学力調査を踏まえた集計データにもとづく授業改善の実施 (考査問題も観点別・領域別に即した設問にして、常に平均正答率を出して、生徒の実態を把握し、それに合わせた授業改善を繰り返していく。) 文章を速断することや時間配分などに関して、身をもって体得する訓練を繰り返し行っていくこと。また数学の図形分野では、フィードバックや教えあい活動で図形が苦手な生徒を無くしていく。証明問題に対応する国語力の定着。オーストラリアの証明を基に自ら文章で証明問題を解いて、自信をつけて、「証明問題を解く面白さ」を味わわせ、数学 (図形) の苦手な生徒を無くしていく。さらに事柄を文章等で表現する訓練を多く取り組んでいく。 	

様々な学習形態

生徒自らが学び (個別最適な学び)、仲間と学びあい (協働的な学び) 生徒自らが情報発信する授業推進します。また公立学校では数が少ない階段教室(レインボーホール)を活用した学習形態で生徒の思考力・創造力を育みます。



想像力を育む → ICT機器の活用

江戸川区より貸与されたiPadタブレットを活用し、情報収集力・情報選択力を高めながら、調べ学習や課題解決学習を推進し、生徒の**思考力・創造力**を育みます。

江戸川区教育委員会の施策を活用して学力の向上を図る

江戸川区教育委員会が企画した「EDOスク」の主旨を理解し、充実を図っています。本校は「学研」からの派遣講師による放課後の数学・英語の補充教室を実施しています。なお、参加は希望制です。



2

多様な体験・交流をとおして豊かな心を育む

①多様な学校行事をとおして豊かな人間関係を育む

三大行事（運動会・けやき祭・作品展示会）をとおして、教員と生徒、及び生徒相互の信頼感を育み、主体的な体験を積み重ねる中で「知・徳・体」のバランスのとれた成長を促します。



運動会 全校生徒のソーラン節



けやき祭 (合唱コンクール)



教科展示会

②学年行事を充実させ、仲間とかかわる力、連携・協力する力を高める

1年生都内巡り、2年生林間学校、3年生修学旅行等の各学年で実施する行事を充実させ、仲間と積極的にかかわる力、他者と協力する経験や体験を重ねます。



③地域並びに教育委員会の方針を踏まえて、特色ある教育を推進する

「清新ふれあい祭」や「葛西地区自転車盗難ゼロ運動」などの地域ボランティアに参加し、地域に協力・貢献する態度を育みます。また江戸川区全体で取り組んでいる「防災教育事業」を受けて、「総合防災訓練（避難所開設訓練）」も行っています。災害時の担い手として、訓練に参加し、活動を通して「自助」「共助」の精神を育成して参ります。



3

特別支援教育の視点を生かしてすべての生徒の成長を促す

①ユニバーサルデザインに基づく授業づくり・学級経営の推進

特別支援教育の視点がすべての生徒の利益及び成長に資することを理解し、ユニバーサルデザインに基づき、すべての生徒にとってわかりやすい授業づくり・温かみのある学級づくりを推進しています。

清新第二中学校のユニバーサルデザイン

- ① 教室の棚に目隠しをする。(刺激の調整)
- ② 教室内(座席、黒板、本棚、掃除ロッカー、雑巾かけ)の整理整頓に努める。
- ③ チャイム着席、始まりと終わりの号令をしっかりと行う。
- ④ 座席を合わせる目印を床に書く。
- ⑤ 「めあて」を示し、到達目標を伝える。(焦点化)
- ⑥ タイマーを用いて、作業時間に見通しを持たせる。



②特別支援教室巡回指導拠点校としての役割の充実

本校が葛西地区(臨海部・東部・南部)の特別支援教室巡回指導拠点校であることを踏まえ、近隣5校(清二グループ)との連携・協力体制を一層促進し、情緒に障害のある生徒の自立活動を促し、在籍校所属学級での適応力・順応力を支援します。

【巡回指導の対象となる生徒】 ※知的障害・不登校生徒は対象外となります。

<p>自閉症スペクトラム障害 (ASD) こだわりが強く、人との関係性が築けない</p>	<p>情緒障害 状況に合わない感情の保持・選択性かん黙等</p>
<p>学習障害 (LD) 聞く・話す・読む・書く・話す等の一部困難</p>	<p>注意欠陥多動性障害 (ADHD) 発達に応じた注意力の欠如・衝動的な多動性</p>

【巡回指導による主な指導・支援】

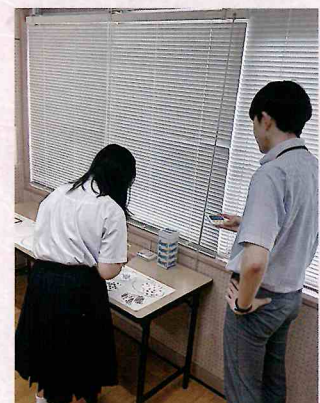
巡回指導では、生徒の「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション力」の6つの自立活動に取り組みます。



コミュニケーション力の育成



健康の保持の取り組み



身体の動きの取り組み

学校沿革

元号	年	月	日	
昭和	62	2	1	田中弘校長就任（初代） 清新第二中学校開設事務所を清新第一中学校に設置
				1
		4	6	入学式 2年生（3学級） 97名
			7	入学式 1年生（3学級） 125名
			9	校章・校歌制定
		10	28	施設完成開校記念式典挙行
			2	4
平成	3	3	31	第2期増築工事完了
		6	8	開校5周年記念式典挙行
	4	4	1	菅谷敏一校長就任（第3代）
	8	4	1	山本勉校長就任（第4代）

元号	年	月	日				
平成	8	12	19	東京都学校給食優良校表彰			
				9	10	7	開校10周年記念式典挙行
				12	4	1	阿部英幸校長就任（第5代）
	16	4	1	臼井寛猛校長就任（第6代）			
				1	根本茂樹校長就任（第7代）		
	19	4	16	情緒障害等通級学級開級式			
				11	2	開校20周年記念式典挙行	
	21	4	1	武田信樹校長就任（第8代）			
	26	4	1	遠藤直人校長就任（第9代）			
	29	4	1	成瀬一博校長就任（第10代）			
				11	15	開校30周年記念式典挙行	
令和	3	4	1	白石亨校長就任（第11代）			
				7	4	1	西原大校長就任（第12代）

令和8年度 学校経営計画概要

「笑顔で登校 笑顔で下校」 ～小さな一歩を、みんなで応援する学校～

【本校の教育目標】

- 豊かな心で互いに敬愛できる人（敬愛）
- 進んで学び深く考える人（知性）
- 健康で明るく自ら鍛える人（健康）
- 責任を重んじ勤労を尊ぶ人（責任）
- 礼儀を重んじ他とよい関係を築く人（礼節）

【学校経営の視点】

- ①安心・安全な学校づくり・・・生徒たちが友人や先生に会うことやワクワクを楽しみに登校できる学校。
 - ②楽しく学ぶ学校づくり・・・「できた」の積み重ねで、生徒が自信をもてる学校。
 - ③学社融合に即した学校づくり・・・地域人材（ヒト）や施設（モノ）との交流で地域に根ざした学校。
- 【教員の働き改革の推進】 学校事務の効率化、担任・校務分掌・部活動等の適正な分担

「重点として育てる資質・能力」と「育てるための手立て」

たくましく生きるための基礎的な学力・体力を身に付ける

基礎・基本の学力の定着

- 「自ら学び、自ら発信する」ための授業改善
- 言語能力・伝達技能の向上
- 情報を収集し、活用していく力

心身の健康づくり

- 健康についての理解と取組
- 体力向上を目指した諸活動
- 安全についての地域の習得
- 心身の成長にむけての支援

- ①生徒自らが学ぶ授業を展開し、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の実践
- ②本校独自の「読書科」の指導の充実、読解力・言語能力の向上
- ③ICT端末を活用した情報収集能力・活用能力の向上

- ①保健体育の授業における継続的な基礎体力づくり
- ②適切な定期健康診断の実施
- ③避難訓練など安全配慮に即した活動の推進
- ④本校独自の「学校生活アンケート」による継続的な支援

ルールを守り、よりよい社会を形成する人となる

規範意識・社会規範

- 基本的な社会規範の理解と実践
- 基本的人権への理解と尊重
- キャリア教育の充実・発展

豊かな心とコミュニケーション能力

- 豊かな感性と情緒の育成
- 表現力の向上
- 自己充実感の享受
- 心がふれあう場の提供

- ①「あいさつの響き合う学校」を目指し、教職員自らの積極的な挨拶の励行
- ②自己理解・他者理解を推進し、人権を尊重する態度の育成
- ③「チャレンジ・ザ・ドリーム」等を通してのキャリア教育の推進

- ①「特別の教科 道徳」の授業を充実させ、豊かな心を育む
- ②コミュニケーション能力を伸ばす教育活動の実践
- ③縦割り活動の強化
- ④エンカレッジルームによる支援・運営体制の効率化

生徒の資質・能力を育てるための環境整備

充実した学習指導

- 本校独自のKGP（家庭学習）の実施及び表彰等のモチベーション向上
- 学習の評価・評定の基準等の作成及び生徒・保護者への周知
- 数英の放課後補習教室の充実

充実した特別支援教室拠点校

- 清ニグループの巡回指導のシステムの改善・個別指導時間の増加
- 巡回指導でのICT機器の活用
- 特別支援教育の視点を生かしたユニバーサルデザインの授業・学級づくり

教育活動の見える化

- 計画的なホームページの更新
- 学校だより・学年だよりによる情報発信の充実
- 学校公開の充実及び保護者会・三者面談のもち方の工夫

保護者・地域との連携強化

- 学校評議員会や外部学校評価に基づく、学校経営の改善
- PTA組織の見直しと負担軽減
- 保護者・地域・行政と連携・協力しての総合的な防災訓練の実施

清新第二中学校 標準服

令和6年度より、標準服の規格を変更しました。軽量で撥水性に優れた素材で、洗濯機で丸洗いができます。

I型：ブレザー・ズボン・ネクタイ・ワイシャツ（ブラウス）

II型：ブレザー・スカート・リボン・ワイシャツ（ブラウス）

I型・II型は男女を問わず生徒本人が希望するものを選択することができます。リボンとネクタイも選択可能です。また暑さ対策として学校指定の「夏用ポロシャツ」も導入しています。



学校所在地（江戸川区清新町2-1-2）及び周辺地図

【交通アクセス】

東京メトロ東西線 西葛西駅下車
 徒歩で約18分
 都バスで約**6分**（西葛西駅から3つ目）
 南口4番乗り場より
 西葛26系統（葛西臨海公園駅行）
 西葛27系統（臨海町二丁目団地行）
 清新ふたば小学校前バス停下車すぐ

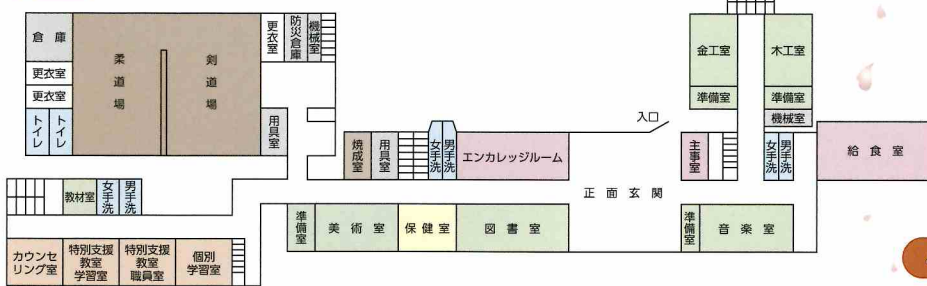


西葛西駅 南口に出て④番バス乗り場から
 都バスに乗車する

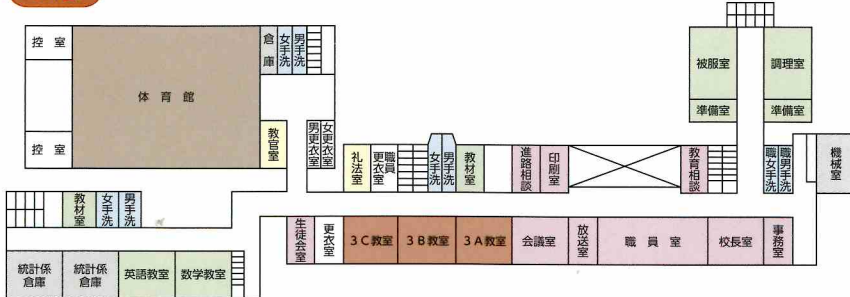


校舎・校舎配置図

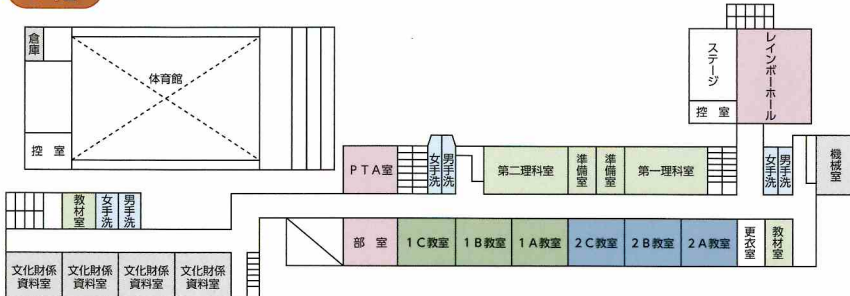
1階



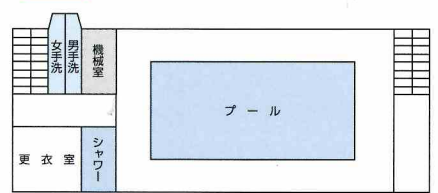
2階



3階



4階



敷地総面積……………17,945.91㎡
 校舎延面積……………9,400.96㎡
 屋内運動場面積…1,129.00㎡
 校庭面積……………9,908.00㎡
 屋上プール……………25m×11m

現保有室数

普通教室……………9室
 管理諸室……………27室
 特別支援学級室…4室